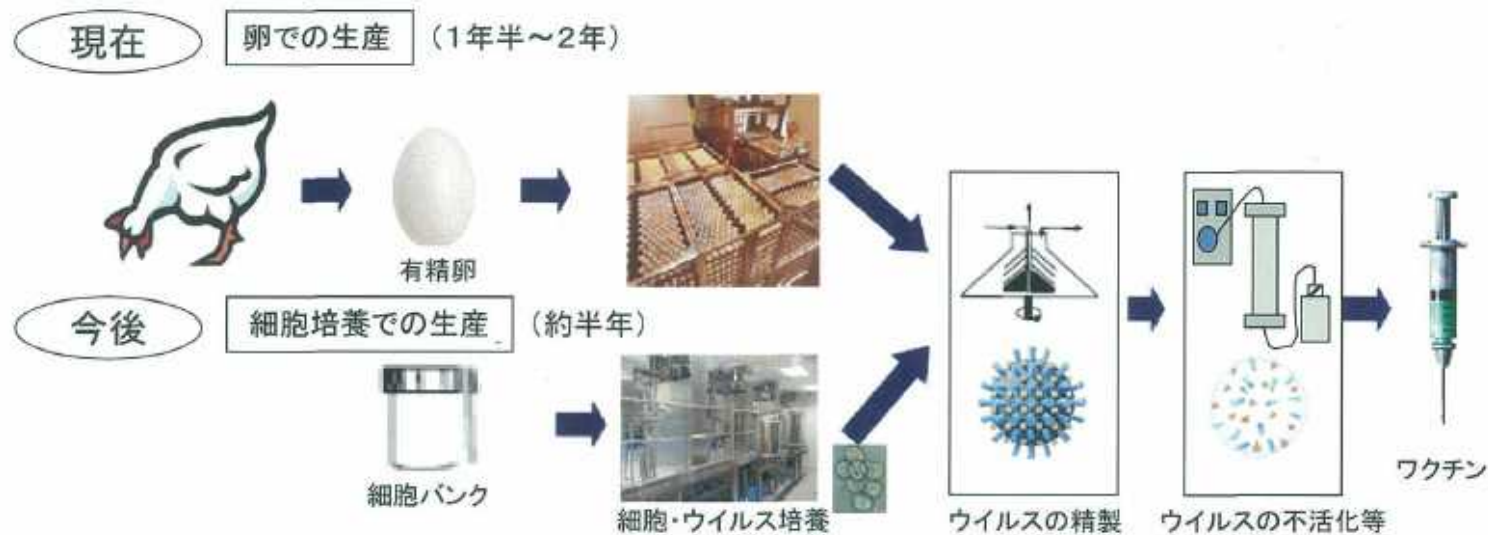


## 新型インフルエンザワクチン開発・生産体制整備臨時特例交付金」交付事業(第2次分)

- 細胞培養法を開発することにより、現在の鶏卵培養法では1年半～2年を要する**全国民分のワクチン生産期間を約半年に短縮**。
- 第2次事業は、細胞培養での生産を実際に行うため、**平成24年度中に、実生産施設の構築・臨床試験等を実施し、平成25年度の実用化を目指すもの**。



採択事業者名	基準額	ワクチン生産量(生産後半年の量)
一般財団法人 化学及血清療法研究所	23,983,523千円	4,000万人分以上
北里第一三共ワクチン株式会社	29,959,000千円	4,000万人分以上
武田薬品工業株式会社	23,983,523千円	2,500万人分以上
一般財団法人 阪大微生物病研究会 (平成24年11月に事業から撤退※)	23,983,523千円	2,500万人分以上